

中長期の収支見込みを

精査後、提示したい



みやがわ のりみつ 議員 宮川 徳光

中長期の収支見通しについては、現在の資料を精査後、提示したい。

問 町情報基盤整備工事も終えて、ケーブルテレビやインターネット等の各種サービスが開始されている。

現時点での加入状況と今後の取組みを踏まえた中長期の収支見込みを伺う。

答 松田 総務課長

3月6日現在での加入状況は、告知放送が92・7%（4809戸）、テレビが37・8%（1964戸）、インターネットが19・2%（995戸）となっている。

問 平成24年度当初予算で情報センター事業に5575万円もの繰入金を計上しているが、ケーブルテレビ、インターネット事業の導入に先立ち、収支を考慮した市場の検討、及び、サービス開始後、加入者の分析を行ったかどうかを伺う。

答 松田 総務課長

情報関連の各事業は、防災及び行政情報の周知対策、テレビ地デジ化対策、ブロードバンド・ゼロ地域及び携帯電話の不感地地域の解消を目的に一体的に進めており、現状の加入者の分析についても、自主放送開始に向けて対応中の現時点では実施していない。



ケーブルテレビでは議会の生中継も

問 ケーブルテレビの加入者は、テレビの地デジ化に伴う難視聴対策で加入された方が大部分と思われる。

このため、自主放送については視聴率調査を行い、費用対効果の検証が必要と思うが、どうか。

答 松田 総務課長

ケーブルテレビについては、全体のサービスの一環として捉えており、視聴率の調査については、今後の対応としてい。

観光振興

現状と今後の
取り組みは
交流人口
増加を図る

問 近年、町への修学旅行生の宿泊やホエールウォッチングの乗船客が減少していると聞く。町への観光客数の推移と、今後の観光振興に向けての取組みを伺う。

答 森下 産業推進室長

町内入り込み観光客状況は、延べで平成23年は57万9千人で、5年前との比較で7万9千人程度の増加。傾向としては、やや増の状況。内容的には、カツオ関連メニューは増加傾向だがホエールウォッチングは減少傾向、その他のメニューはほとんど横ばいで推移。今後、幡多広域観光協議会や砂浜美術館などの関係機関と連携し、交流人口増加につながるよう観光振興を図っていく。

問 NPO 砂浜美術館への委託による費用対効果と、今後の取組みを伺う。

答 森下 産業推進室長

砂浜美術館関連事業の平成23年の来場者数は3万5千人強で、波及効果等を考慮すると、委託料に十二分に見合っていると考える。

今後も現在のメニューに加え、スポーツ誘致などにも力を入れ、宿泊客数を伸ばして行きたい。



ホエールウォッチング